

令和3年度 学校評価 <最終評価>

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>① 事故発生時の対応や感染症拡大防止を徹底するなど、安心・安全な学校づくりに努める。 ② ICT機器の活用を進めるなど、一人一人に応じた教育の充実を図る。</p>		
<p>担当</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>最終評価（評価結果と課題）</p>
<p>総務部</p>	<p>・「SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を意識した、学校環境の整備に取り組む。</p>	<p>・17の目標を基に、総務部内で取り組み可能な目標づくりをして、積極的に情報発信することを心掛け、児童生徒、保護者、教職員等と協力・協調して、学習・生活しやすい学校・教室環境を整備する。</p>	<p>・1学期、各校務部会時にSDGsに関する学習会を総務部職員間で行った。17の目標や169のターゲットなど基本的な事項と、実際に校内で取り組むことができる活動について意見交換を行った。早期に全校へ周知することを目標に進めていたが、まずは具体的な様々な課題について更に検討・学習会を進めた。 2学期も引き続き検討し、課題を話し合った。目標初年度でもあることから、日常、誰もが取り組むことのできる課題を設定することに決め、「無駄遣いをなくした学校環境を作る」とした。 3学期始めの運営委員会、各部会に提案し、了承を得ることができた。今年度については、総務部主導で可能なところから「無駄遣いをなくした」活動を進めていけるようにした。今後は具体的な数値などを示して課題を挙げ、全校への周知を進めていきたい。（達成度25%）</p>
<p>教務部</p>	<p>・感染症拡大防止に努めながら授業を実施する。  ・個別の指導計画を基に単元、題材のねらいや一人一人の目標を明確にして授業を行う。</p>	<p>・授業計画を立てる際に、児童生徒間の社会的距離が保たれているか、3密が回避されているかなどしっかり感染症対策を講じているかを確認する。  ・関係教職員で情報を共有し、障害特性に応じた環境設定、タブレット端末の活用、教材の工夫等をしなが、授業実践を行う。</p>	<p>・緊急事態宣言が解除されても、感染予防に基本的なソーシャルディスタンスの確保や手指消毒、マスクの着用等、一人一人の教職員が意識をして日常的に授業に取り組むことができた。 授業展開についても、活動場所を分散したり、3密を回避したりするなど感染症対策を講じて授業の実施ができた。（達成度95%） ・個別の指導計画の新様式では、大きな混乱なく進めることができた。今後は、反省点等をあげ、来年度に向けて様式を改善していきたい。 ・来年度から年間指導計画の様式を変更するため、それに向けた様式の最終確認をしていく。（達成度90%）</p>
<p>生徒指導部</p>	<p>・安全な通学環境を整備する。</p>	<p>・スクールバスの運行経路の補正とダイヤの調整を行う。  ・交通安全に対する意識の向上を図る。</p>	<p>・工事等により経路変更が3か所あったが、保護者と相談の上、比較的迅速に対応することができた。（達成度80%） ・本年度の交通事故発生件数は1件であった。高等部の自力通学生を対象とした通学オリエンテーション</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の定着を図る。</li> <li>・ いじめの早期発見と適切な事案対応を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで挨拶する習慣の定着やお互いに認め合う気持ちの向上を図る。</li> <li>・ 学校生活に対する聴き取りや情報収集を行い、未然防止や早期発見に努める。</li> <li>・ いじめ不登校等対策委員会でいじめに関する情報を共有し、対応の在り方を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ンの際、自転車乗車に関する注意事項を繰り返し伝えたことで、自転車通学生が安全に登下校する様子を確認することができた。(達成度 70%)</li> <li>・ 校内放送等を積極的に活用して「あいさつ運動」や「思いやりの木」について呼び掛けたことで、日頃から元気に挨拶する様子が見られるようになったり、思いやりの木は他者への感謝の気持ちで満開となったりした。(達成度 90%)</li> <li>・ 本年度の聴き取り等では、いじめに関して対応が必要な事案は 0 件であった。今後も普段から、児童生徒同士の暴言やかからかい等に気を付けながら、児童生徒の実態把握に努め、いじめの未然防止、早期発見を強化したい。(達成度 80%)</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症等の対策を意識した実習マニュアルを整備する。</li> <li>・ 学区内の障害福祉サービス事業所情報のデータベースを作成する。</li> <li>・ 進路指導用の保護者向け資料の充実を図る。</li> <li>・ キャリアパスポート導入に向けた検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の実習マニュアルに感染症拡大防止についての項目を追記する。</li> <li>・ P T A 主催の事業所相談会で使用しているデータを参考にして、教職員が見やすい書式にまとめていく。</li> <li>・ 個別懇談などで担任が保護者向けに説明する際に使用できるデジタルコンテンツを作る。</li> <li>・ キャリアパスポートの導入に向けて、本校に合った書式を検討し、試案を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習マニュアルに感染症対策について追記した。(達成度 100%)</li> <li>・ 学区内の障害福祉サービス事業所情報をまとめ、データベースの試作を始めた。今後、多くの教職員に見てもらい、更に使いやすい書式に変更していきたい。(達成度 50%)</li> <li>・ 保護者に提示する資料の作成に取り組んだが、実際に保護者に提示できる段階までは進むことができなかった。次年度の課題としたい。(達成度 40%)</li> <li>・ 中学校で使用している書式を確認し、本校に必要な書式を検討し始めた。進路指導部内だけの検討では難しいので、他の分掌とも検討をしていきたい。(達成度 50%)</li> </ul>
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策を実施するための保健指導の充実を図り、安心・安全な学校づくりを目指す。</li> <li>・ 事故発生時対応訓練の内容の充実やより学びのある訓練を目指し、学校安全の確保を図る。</li> <li>・ 食育指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員へ感染症対策についてのマニュアルを提示し、適宜情報発信し、共通理解を図りながら保健指導を進める。</li> <li>・ 想定内容や環境整備を工夫しながらより充実した安全対策を講じ、事故発生時に迅速な対応が全教職員で実施できるようにする。</li> <li>・ 食に関する全体指導計画を基に、食に関する指導や教職員間との連携を図りながら、個に応じた安心・安全な指導を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニュアルを整備し、年度初めに教職員に周知した。また、感染状況等に応じて、学校医、薬剤師に助言をいただき、教職員へ伝達した。行事等においても、確認や情報共有しながら進めることができた。(達成度 90%)</li> <li>・ 訓練時には活発な意見交換ができ、適宜修正して進めた。また、新型コロナウイルス感染症対策で動画視聴を取り入れたり、心肺蘇生練習キットを活用したりした。事故発生時においても迅速な対応ができた。(達成度 80%)</li> <li>・ 食に関する全体指導計画を年度初めに周知し、授業や個別指導等、計画どおり実施できた。また、栄養教諭による授業も複数回実施できた。引き続き、連携を図りながら食育指導を充実していく。(達成度 70%)</li> </ul>

<p>教育支援部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒及び教職員への校内支援の充実を図る。</li> <li>・ センターの役割を担うために、地域の関係機関と連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学部、高等部ケース検討会を実施し、支援の充実を図る。</li> <li>・ 児童連絡会（小）、情報交換会（中・高）での情報交換を実施し、支援の充実を図る。</li> <li>・ 巡回、指導検討会のためのケース会を行う。</li> <li>・ ニーズに合った充実した研修会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部のコーディネーターが、情報収集を行い、毎週一回コーディネーター会を開き、情報を共有した。高等部ケース検討会を定期的を実施し、情報を共有しながら継続的な支援ができた。また、愛知県に配備されたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を取った。専門家の意見を聞くことで、支援についての再検討、再確認ができた。（達成度 80%）</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、中学部情報交換会、小学部児童連絡会の内容や方法を工夫し、昨年同様電話で個々に実施した。電話での情報交換だったが、十分話をする事ができ、参考になる情報をたくさん得ることができた。また、地域の関係機関や本校教職員から、移行支援のための会の必要性を再確認することができた。（達成度 90%）</li> </ul>
<p>情報教育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT を効果的に活用した実践の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員向けにネットワークを活用した実践の紹介や研修会を実施し、知識・技術の伝達を進める。</li> <li>・ 児童生徒が主体的に ICT 機器を活用することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季休業中に教職員向けの研修を実施した。クラウドサービスを活用した実践の紹介や、児童生徒が操作できるデジタル教材の作り方を内容に盛り込んだ。多くの教職員が関心を持って研修することができた。（達成度 80%）</li> <li>・ 会議ソフトを使用して、異なる教室同士で通信しながら授業を行う方法を提案したところ、多くの学年が校内リモート授業を実践することができた。行事や授業をリモートで実施することで、児童生徒が新しいコミュニケーションの形に慣れ、自らカメラに向かって手を振ったり、積極的に発言したりするなど、主体的に発信する場面が見られるようになった。（達成度 70%）</li> </ul>
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書室の環境の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書室の新しい利用方法の周知と、蔵書の充実を進め、児童生徒が安心・安全に利用しやすい図書室環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書室利用オリエンテーションの内容を変更したことで、小・中学部においては 9 割の児童生徒が、期間中に図書室を利用することができた。一方、取組の周知が不十分だったため、図書室内掲示を分かりやすくするなど、周知の方法を工夫していく。</li> <li>・ 今年度新たに書架が増えたことで余裕ができ、児童生徒が本を手に取りやすく配架したり、生活単元学習に関する図書を内容別に分類したりすることができた。</li> <li>・ 今年度は、教科や社会生活に関する本を中心に図書を購入した。教科書の内容に関連するものなど、授業で活用しやすい図書を今後も増</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の読書活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会活動や読書週間等を通して、ICT機器を活用した読書活動及び学習活動の紹介を行う。</li> </ul>	<p>やしていく。(達成度 75%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会活動としてプレゼンテーションソフトを活用し、部集会で図書委員のおすすめの本を紹介した。また、おすすめの本を図書室で掲示したり、活動の様子を「としょだより」で紹介したりした。今後も委員会担当と連携をとりながら進めていく。</li> <li>・読書週間についての取組では、感染症対策のため図書室にコーナーを設置しなかったが、対象図書をデータ化し、各教室の大型テレビで閲覧できるようにした。データ化の際には各出版社へ確認を行った。本のデータ化については、利用者の90%が「よい」と回答されていたので、今後も、著作権に十分に配慮した上で行っていけるとよい。(達成度 80%)</li> </ul>
<p>研修部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修では、職員の興味や関心、必要性の高い内容を選んで計画する。</li> <li>・研究では、各教科等を合わせた指導に生かせる「社会」「理科」の指導内容について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回の全校研修を計画し、1学期に「情報モラル」「救護・救急法」「進路」、2学期に「人権」「教材・教具展」を実施した。</li> <li>・夏季休業中には、夏季現職研修を13講座実施した。栄養教諭や養護教諭の講話、ICT機器の使い方、自立活動の教材・教具の使い方、いい体操と合図のコツ、自閉症について、デイサービスの見学など、内容は多岐にわたる。多くの教職員が積極的に興味のある研修に参加し、指導力や専門性を高める機会とした。</li> <li>・どの研修も、他分掌と協力して、必要な内容を検討して実施した。(達成度 80%)</li> <li>・新学習指導要領の社会科と理科に焦点を当てて、年間5回全校職員で研究を行った。本校には、社会科や理科の授業はないが、生活単元学習などの授業の中で、社会科や理科の指導目標が達成できるよう、どのような指導内容を盛り込むと良いかを検討した。9つのグループに分かれ、グループごとに範囲を決めて内容を考えていくことで「指導内容表(例)」を作成することができた。今後は、この表を活用しながら、実際の授業について考えていく。(達成度 50%)</li> </ul>
<p>自立活動部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動に関する情報提供を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動に関する研修会、相談会を実施したり、参考資料を紹介したりして、必要な情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に自主研修会と相談会を実施し、必要な情報提供を行った。月に1回、自立活動教材や参考資料等の紹介を行った。(達成度 90%)</li> <li>・日常の支援や指導が安全にできるように運動器問診をまとめ、学年</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動に関する教材教具や資料データを充実させ、活用しやすい環境を整える。</li> </ul>	<p>ごとに児童生徒の体の状況や使用装具の周知を図った。使用装具については留意事項や点検項目をまとめた資料を作成し、正しい装着方法や定期的な点検について周知した。(達成度 80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に引き続き、自作教材、授業で使用したプリントやプレゼンテーション資料などのデータを管理するとともに、教材・教具展を研修部と連携して実施し、資料を拡充して閲覧できるよう整備した。(達成度 90%)</li> </ul>
--	--	---	---